

令和8年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「夜須高原ファミリーキャンプ②」

報告書

- 1 趣 旨 小学生とその家族を対象に、様々な体験活動を通して、親子及び家族同士の交流を図り、体験活動等の重要性を広く普及・啓発する。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
- 3 後 援 福岡県教育委員会
- 4 期 間 令和8年7月11日（土）～12日（日） 1泊2日
- 5 会 場 国立夜須高原青少年自然の家 〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103
- 6 対 象 小学生とその家族 15家族50名程度
- 7 参加者 15家族61名
- 8 日 程 7月11日（土） 活動① 竹うちわ作り
活動② 野外炊飯BBQ
活動③ 花火
7月12日（日） 活動④ 川遊び・水遊び
- 9 活動の実際



【竹うちわ作り】



【野外炊飯BBQ】



【花火】



【川遊び】



【水遊び】

10 感想

- 日頃、家族でナタや木槌を使ったりする経験はできないので、良い経験になった。逆に親が絵を描く時間はなかなか無いので、それも久しぶりに楽しかった。
- 子どもを連れてなかなかキャンプや野外活動が難しい。今回安心して様々な体験ができて本当によかった。
- 子どもが自然を感じながら体験を行えることに非常に意義を感じた。
- みんなで水遊びや川遊びなど、思い出づくりができた。
- 自然の中で夏らしい内容を体験できた。
- 暑い中、日差しを避けた活動もあり、過ごしやすく子供たちの楽しい笑顔が見られてとても有意義な2日間だった。
- 自然の中で、日頃できないようになってしまっている体を使った遊び、生活全般ができ、人間に立ち返れた心地がする。
- 子どもたちが他の家族との関わりながら様々な体験ができ、とても良い思い出になった。
- 竹うちわ作り。初めてでした。形として思い出に残る物、嬉しかった。

11 成果

- 参加家族のアンケート結果としては、「満足」(87.0%)、「やや満足」(13.0%)と事業全体の満足度が高く、「良い経験になった」「思い出づくりができた」「日頃できない体験ができた」といった感想を得ることができた。
- 各活動の満足度は、『竹うちわ作り』『バーベキュー』:93.3%、『花火』:100%、『川遊び・水遊び』:86.6%と、活動内容が参加者のニーズに合致し、満足度の高い事業を実施できた。
- 『子どもにとって体験活動は必要と思うか』という設問に対し、93.3%が「思う」と回答、また『今後も子どもに体験活動をさせたいと思うか』との問いに対し、「思う」86.0%、「やや思う」14.0%と、体験活動等の重要性を広く普及・啓発することに寄与することができたと考える。
- 今後、体験してみたいキャンプについて質問したところ、テント泊や火起こし、キャンプファイヤーなどのキャンプ体験、星空観察や虫探しなどの自然体験、流しそうめん、飯ごう炊飯や焼き芋などの野外料理、水鉄砲(竹でっぽう)や陶芸などの創作活動など、普段できない特別な体験ができるキャンプを希望する声が多く寄せられ、今後の教育事業の企画の参考となる参加者のニーズに関する情報が得られた。

12 課題

- 本事業では、家族ごとの活動が多く、参加者が自由に活動できたのが主に「川遊び・水遊び」の時であったためか、参加者より「家族間同士の交流があまりできなかった」「家族間での交流は十分できたが、他の参加家族との交流をもっと深めたかった」との感想が見受けられた。家族で取り組む活動とは別に、複数の家族で取り組む活動や参加者が自由に活動できるプログラムを実施し、参加している家族同士の交流の場を確保する必要がある。
- 親が子どもを抱いた状態で長い階段を上り下りする等、活動場所への移動が負担となる状況が見受けられた。活動場所への導線や移動する際のサポートを考慮した運営が必要である。
- 『竹うちわ作り』及び『バーベキュー』については、「やや不満」の低評価が1回答あったが、アンケートにその理由を記載する項目を設けていなかったため、詳細が分からなかった。次回以降はアンケートに回答を選択した理由を記載する欄を設け、詳細を確認できるようにする。